

# がんセンターたより



## 神奈川県立がんセンター 重粒子線治療について

平成 27 年 12 月に i-ROCK（重粒子線治療センター）が稼働してから 3 年目を迎え、院内外の多くの皆様のご協力の下、ここまで診療を続ける事ができました。この場を借りて御礼申し上げるとともに、重粒子線治療に関して寄せられる代表的なご質問とその回答を紹介致します。

Q

&amp;

A

**Q** 受診方法について教えてください。

**A** 紹介制のため、かかりつけの医療機関の紹介状が必要です。

事前に FAX の送信が必要な事もありますので、詳しくは i-ROCK のホームページをご参照下さい。

<http://kcch.kanagawa-pho.jp/i-rock/index.html>

**Q** 対象部位はどこですか。

**A** 現在、骨軟部腫瘍、頭頸部、肺、肝臓、膵臓、前立腺の 6 部位が対象です。今後、子宮、直腸等を追加予定です。

**Q** 照射は何回するのですか。

**A** 照射回数は部位毎に異なり、最短 4 回～最長 16 回。週 4 日連続照射するので、治療期間は 1 週間～4 週間です。1 回毎の在院時間も 2 時間弱と短く、仕事を続けながらの治療も可能です。

**Q** 入院は必要ですか。

**A** 原則として外来治療です。

**Q** 治療費はどのくらいかかりますか。

**A** 重粒子線の治療費は、疾患によって保険診療と先進医療に分かれます。①保険診療となる骨軟部腫瘍、頭頸部が 237.5 万円、前立腺が 160 万円となりますが、所得に応じて自己負担割合（0～3 割）が異なります。また高額療養費制度もご利用できます。②その他部位は先進医療となり 350 万円ですが、民間保険会社の先進医療特約のご利用が可能となります。また、県等が一部費用を助成する制度もあります。①②いずれも、初診料や適応を決めるための検査料等で数万円程度の費用が別途発生します。

**Q** 支払方法について教えてください。

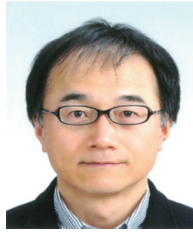
**A** 照射開始日（保険診療の場合）、またはその日から 1 週間以内（先進医療の場合）に一括支払いとなります。ただし、先進医療特約の適用となる場合、保険会社によっては、患者さんの一時的な立て替えも不要となります。

お陰様で皆様のご関心も高く、上記以外にも多種多様な質問を頂きます。今後も御不明な点が御座いましたら重粒子線治療電話相談窓口（TEL：045-520-2225）までお問合せ下さい。

（重粒子線治療管理室長 川上 稔）

## 臨床研究所長就任 のご挨拶

臨床研究所 所長  
宮城 洋平



本年の6月1日付けで臨床研究所長を拝命致しました宮城洋平です。どうぞ宜しくお願い致します。就任に当たり、一言、ご挨拶を申し上げます。

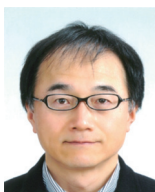
神奈川県立がんセンター臨床研究所は、1963年開院の神奈川県立成人病センターが「がんセンター」として新たにスタートした1986年に産声をあげました。私は奇しくも臨床研究所が誕生したこの年に医学部を卒業しました。1986年当時は、ヒト膀胱がん組織から変異を持つKRAS遺伝子が単離（1982年）され、Varmus / Bishop が、がん原遺伝子SRCの発見でノーベル賞を受賞（1989年）した時期に一致し、がん研究の世界が、がん遺伝子の研究でがんの本態が解明され治療法も確立できるぞ、と期待に沸き返っていました。一方で、一向に改善しないがんの年齢調整死亡率から、” We are losing the war against cancer (Bailar & Smith. NEJM 314:1226-1232, 1986) .” と言われた年でもあります。臨床研究所の開設から32年が過ぎて、ヒトゲノム計画、次世代シーケンサー誕生にブーストされ、今まさに、がんゲノム

研究を始め、積み上げられてきた基盤研究の成果を、がんの予防・診断・治療に還元する時代を迎えています。そして、その役割を担う重要な役者の一人は、間違いなく、がん専門病院に付置されたがん研究所であると私は思っています。

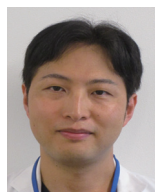
前置きが長くなってしまいました。臨床研究所が何処にあるか、皆さんご存じでしょうか？ 管理研究棟1Fの自動ドアを入れて直ぐ右に、臨床研究所、と書かれた扉があるので、その扉の向こうが研究所と思っているがんセンター職員の方も少なからずおられるようです。そこは動物実験施設です。研究所の本体は4Fの全フロアーになります。場所からしてこうですから、「臨床研究所は何をしているところか良くわからない」という声を良く耳にします。まず、この声に真摯に耳を傾け、「臨床研究所の見える化」を進めて行きたいと考えています。がんセンター職員の皆さんに、機構本部・がんセンター以外の機構施設・神奈川県の職員の皆さんに、そして何よりも神奈川県民の皆さんに、まずは、臨床研究所がどんな研究をしているところか知って頂く努力をして、そして、ご批判、ご意見、ご助言、あるいは応援を頂き、その存在意義をしっかりと認めてもらえるように、研究所の職員が一丸となって研究活動を展開していく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 新任紹介

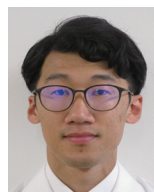
職員の異動（平成30年6月以降の転入者）がありましたのでご紹介します。よろしくお願ひします。



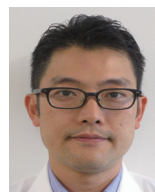
臨床研究所  
所長  
宮城 洋平



泌尿器科  
医長  
逢坂 公人



呼吸器外科  
医師  
江里口 大介



頭頸部外科  
医師  
岩村 泰



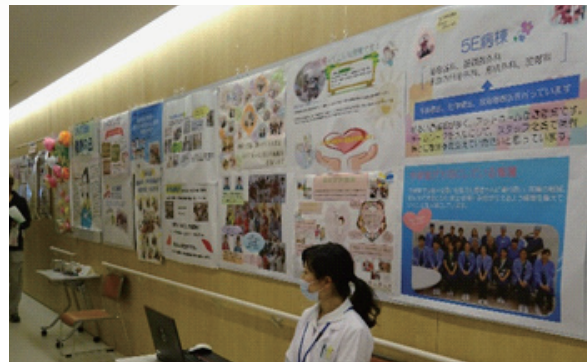
乳腺内分泌外科  
医師  
古波藏 かおり

# イベント報告 2018



## 看護の日・看護週間記念行事（5月7日～11日）

5月7日～5月11日に看護の日・看護週間記念行事を開催し、患者さんやご家族の皆さんに楽しんでご参加いただきました。看護師によるアロママッサージ、多職種によるポスターセッション、栄養科による治療中の食事の工夫・病院食の紹介、検査科によるQ&A・血管を映し出す体験、薬剤科によるお薬相談などの催し物をしました。また、ピアノの優雅な演奏とテノール独唱に癒されました。（副看護局長 山口いずみ）



## 一日看護体験（7月25日）

平成30年7月25日（水）に、「一日看護体験」を開催し、17名の高校生がご参加くださいました。多くは、今後の進路を決めるにあたり、看護師の仕事に興味を持たれてのご参加でした。

参加者はユニホームを着用し、実際に病棟で看護師と一緒に動いて見学し、さらに懇親会の場では、看護師に看護の仕事のこと、看護師になるための学校での学習の体験などを聞いていました。終了後のアンケートでは、ほとんどの方が「とてもたのしかった」「看護学校・看護大学に進学したい」と回答されました。

（副看護局長 清水奈緒美）



かながわサイエンスサマー

## 第5回 君もレントゲン博士！ (7月29日)

画像診断と IVR を広く知ってもらうためのイベントの 5 回目を開催しました。今年は神奈川県のパフレットに掲載されず、ホームページのみに載っただけだったので、応募数が減りました。宣伝をして 27 名に受講証を発行し、7 月 29 日の朝には 22 名の参加者と 18 名の保護者が集合しました。

開会式とガイダンスのあと 6 つの班に分かれて 11 項目の画像診断と IVR の体験をしました。今回は他施設の医師も含め、各グループを 2 人の医師が指導し、当科と放射線技師が準備したイベントを順に体験していきました。さらに今年は重粒子線治療管理室のご協力をえて、重粒子施設の見学もできました。

親に言われて参加したけど、すごく楽しかったというような声もありました。保護者の方にもいろいろ体験していただいたのも好評でした。

イベントのスタイルもほぼ確立でき、他施設でのモデルケースにもなっています。来年以降も継続できるといいなあと考えています。(放射線診断・IVR 科部長 吉田哲雄)



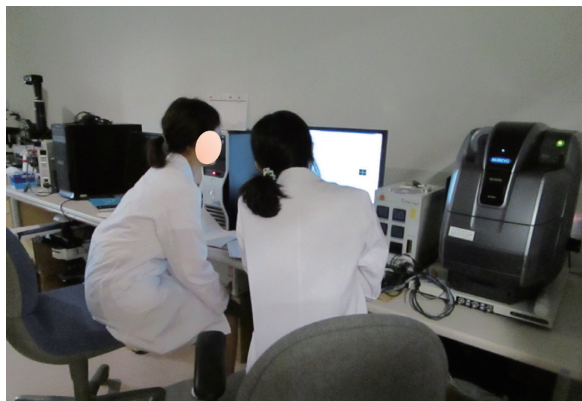
かながわサイエンスサマー

## がん細胞を探し出せ！ (8月3日)

神奈川県が企画する“かながわサイエンスサマー”の一環として、臨床研究所で、中、高生を対象とした科学教室“がん細胞を探し出せ！”を 8 月 3 日に開催しました。

今年もたくさんの応募があり、抽選を実施しました。当日は、28 名の参加者に、細胞って何？、遺伝子って何をしているの？、ということから、遺伝子とがんの関係まで講義をしました。その後、がん細胞株から DNA をとりだす実験を通して、DNA・遺伝子の理解を深めて頂きました。また、正常な組織を含むがん標本から、“がん細胞を探し出せ！”を宮城所長の解説とともに行いました。最後に、臨床研究所ツアーを実施し、実際のサイエンスの現場を体験して頂き、アンケート結果も大変好評でした。

今回の体験が子供達にとって医学に対する興味を持つきっかけになればと臨床研究所職員一同願っております。(臨床研究所 星野大輔)



## ブラックジャックセミナー（8月11日）

9 回目のセミナーを、8 月 11 日土曜日に開催しました。午前中は子供を連れて仲間の職員が、仕事場紹介がてら体験に来ていました。重粒子の加速器見学も恒例になってきました。来年もぜひご家族を連れて来てください。

午後は小 5 から中 3 までの 44 人の子供たちが集まりました。今年は 35 人定員に 130 人を超える応募が来てしまい、枠を広げて対応しました。今年も幅広い部門に応援を頂き、呼吸器外科、消化器外科（胃食道、肝胆膵、大腸）、婦人科、泌尿器科、病理診断科、放射線治療科、放射線物理士、看護局が参加してくれました。縫合実技、内視鏡手術、自動縫合器使用体験、超音波メス体験、手術室での手術体験、AED 実習、重粒子加速器見学に加え、今回は初めて、双眼顕微鏡で肺実質、肺気腫、肺がんの病理実習を行いました。病理診断科の先生方が、顕微鏡を講堂まで持って来てくれました。



最初は緊張した面持ちだった子どもたちですが、すぐに笑顔と驚きの声に変わりました。引率の親御さんたちからも多くの質問とともに、驚きと感謝の言葉を頂きました。また、よこはまケーブルビジョンが取材に来て、地域情報番組「じもっと」でセミナーの様子が放送されました。病院の実力の一端を示すことができたと思っております。お手伝いいただきました方々に、この場を借りて御礼申し上げます。（呼吸器外科部長 伊藤宏之）

## 泌尿器科

### 診療科紹介

泌尿器科は尿路（腎臓～尿道）、男性生殖器（精巣、前立腺など）における悪性腫瘍の診療を担当しています。薬物療法から手術まで幅広い治療手段を駆使し、9 月からは前立腺癌を対象にロボット支援手術（ダビンチ）も開始します。オペ室看護師、C E、麻酔科、事務からなる「チームダビンチ」を結成し、今後他科の導入の先鞭をつけるべく、一致団結して準備を進めているところです。ダビンチや重粒子線治療などの最先端治療が可能となった当院の特色を生かすため、「前立腺センター」も立ち上げました。放射線腫瘍科、

重粒子科、放射線診断科、病理診断科と一体となり迅速な診断、治療を行う体制です。多くの診療科とコメディカルの支援により質の高い医療が提供できる事に感謝しつつ、我々も院内の「おしっこコール」にはいつでも駆け付けますので気軽にお声掛けください。飲み会、運動会、スキー&スノボ、お花見等々、みんなで年中ワイワイやっていますので、課外活動でもお会いしましょう！（泌尿器科部長 岸田 健）



# World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering (IUPESM WC2018)

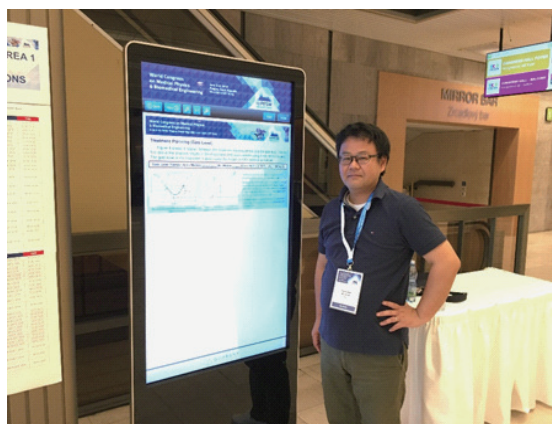


# 国際 サポーターティブケア学会 (MASCC 2018)

物理工学科 草野 陽介

薬剤科 櫻井 学

チェコ共和国の首都プラハで 6 月 3 日～ 8 日に開催された IUPESM WC2018 へ参加しました。本学会は 3 年ごとに開催される医学物理学分野で一番大きな国際学会であり、「炭素線スキャニング照射法での呼吸性移動臓器に対する線量分布再現性 (Dose verification using in-room 4D-CT images for respiratory moving target in carbon-ion pencil beam scanning method)」について報告しました。他の報告では、診断分野で画像フィルタやアーチファクト除去・軽減に関する技術、AI を用いた診断・輪郭描画技術、X 線治療では MRI 搭載型 X 線治療装置、粒子線治療では DNA 損傷メカニズム、治療計画の RBE 最適化計算法、Adaptive therapy、装置小型化などの最新情報を得ることができました。特に、Adaptive therapy は当院が目指すべき技術と思いました。今回得られた知識を実臨床に活かしていきたいと思えます。



2018 年 6 月 28 日から 30 日、オーストリアで開催された、Multinational Association of Supportive Care in Cancer (MASCC2018) に参加させていただきました。世界 60 か国、1200 名以上が参加した学会で、初めての国際学会でもあり、その雰囲気を感じることができたので報告させていただきます。MASCC といえば、まず頭に浮かぶのが「制吐薬ガイドライン」であり、特に制吐薬を取り巻く世界的な状況について、とても関心がありました。カルボプラチンの催吐リスクについて、MASCC/ESMO Antiemetic Guidelines では高度リスク、国内ガイドラインでは中等度リスクに分類されています。最近、国内でもカルボプラチンの催吐リスクを高度へ格上げする動きがあり、このような世界的な流れによるものだと体感しました。また、国内で販売されていない NK1 受容体拮抗薬の Rolapitant や Netupitant とイメンド® の薬力学的な違いやレジメンへの組み込み方についての発表を拝聴し、今後役立つと感じました。このように、海外と国内の医療環境の違いにも触れ、いろいろなことを学ぶことができました。メディカルスタッフに対しても、このような機会を与えてくださった病院、および日常業務が忙しい中、早く送り出してくれた薬剤科のスタッフに感謝いたします。



# 平成 29 年度 患者満足度調査結果のご報告



平成 29 年 10 ～ 11 月に、患者さんへの満足度調査を実施いたしました。

入院患者さんには、10 月 30 日（月）～ 11 月 10 日（金）の 2 週間で、600 名の方にアンケート調査票を配布し、330 名の方から回答をいただきました。

外来患者さんには、10 月 30 日（月）及び 11 月 1 日（水）の 2 日間で、1,000 名の方にアンケート調査票を配布し、958 名の方から回答をいただきました。

病院全体の評価は、前回調査に引き続き、入院が外来より満足度が高い結果となりました。

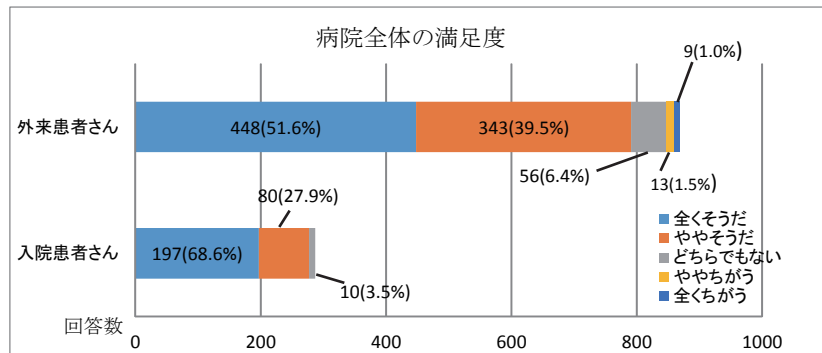
調査項目別では、外来における検査、入院中の具体的な治療、診療や医療スタッフについては概ね満足をいただきましたが、会計の待ち時間など外来会計については十分に満足いただけていない結果となりました。29 年度に開始したシャトルバスの運行など、改善された点の評価とともに、診察や会計の待ち時間が長いといった改善すべき点のご指摘もいただきました。

アンケート調査の結果は、今後のより良い病院運営に活かしてまいります。病院アンケート調査にご協力をいただいた患者さん、ご家族の皆様にお礼申し上げます。

## 1 病院全体の満足度

「全体としてこの病院に満足している」の設問に、「全くそうだ」、「ややそうだ」と回答した割合は、外来患者さんが 91.1%、入院患者さんが 96.5% と高い結果となりました。

※ 回答数は、アンケート調査票を配布し、有効な回答として回収した数。



## 2 病院全体の評価（最大値：10 点） ※ ( ) 内の数値は前回調査との差異

病院全体の評価	外来	入院
病院に満足している	7.0(△0.1)	8.3(+0.5)
病院を信頼している	7.3( 0.0)	8.5(+0.4)
家族、知人に勧めたい	6.6(△0.1)	8.2(+0.9)
医療サービスを高めるために、努力し向上している	6.5(△0.3)	8.3(+0.9)

## 3 項目別集計結果（最大値：10 点） ※ ( ) 内の数値は前回調査との差異

項目	満足度
<b>外来</b>	
診察前 (紹介、待ち時間、待合室環境)	5.6(+0.2)
診察や医療スタッフ (医師の診察、看護師の説明・処置)	6.3(△0.2)
検査 (尿検査、血液検査、CT、MRI、レントゲン、処置・説明)	7.3( 0.0)
施設・設備・情報提供 (診察室、院内設備、がん相談、情報提供)	5.9(+0.2)
会計 (順番が公平・長く待つ、請求書、職員対応、自動清算機)	4.2(△0.5)
総合評価 (病院全体)	6.7(△0.1)
<b>入院</b>	
入院時の説明等 (医師説明、入院手続き、入院中生活説明)	7.1(+0.8)
入院中の診療や医療スタッフ (医師の説明・診療、看護師の説明・処置、介助等)	7.7(+0.4)
入院中の具体的な治療 (検査、薬剤師・栄養士の説明・指導、手術、リハビリ)	7.8(+0.9)
施設・設備・情報提供 (トイレ・浴室、病室内環境、エレベーター・階段、食事、がん相談等)	7.0(+0.6)
退院 (退院説明、会計)	6.7(+0.6)
総合評価 (院内仕組み、病院全体)	8.3(+0.7)

※満足度の考え方

各設問の回答項目「まったくそうだ」、「ややそうだ」、「どちらでもない」、「ややちがう」、「まったくちがう」の回答者数に対し、それぞれ 10 点、5 点、0 点、-5 点、-10 点を掛け、満足度を回答数で割った平均の数値。

## 認定看護師が増えました！

平成30年度の認定看護師認定審査の結果、4名の看護師があらたに認定看護師として認定を受けました。認定看護師とは、日本看護協会の認定資格で、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる看護師です。現在21分野で認定されている資格です。

このことをうけて、当院では、12名の専門看護師と24名の認定看護師が活動する体制になりました。

あらたに認定を受けた看護師たちは、自部署での研鑽をつみ、将来は地域でも活用していただけるよう、がんばっていきますので、よろしくをお願いします。



(むかって左から)

緩和ケア認定看護師：浅野あさみ  
 皮膚・排泄ケア認定看護師：皆川由香  
 がん化学療法看護認定看護師：嘉山雅子  
 乳がん看護認定看護師：出井あゆみ

## ★ボランティア会 ランパス★ による 9月・10月 木曜ミニコンサート予定表

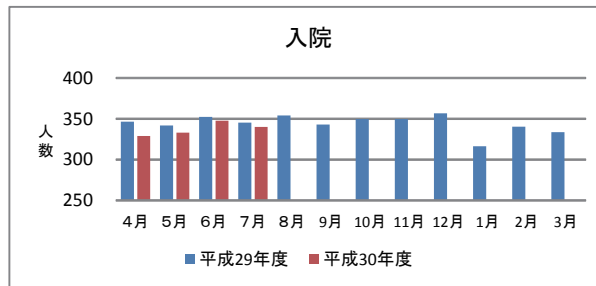
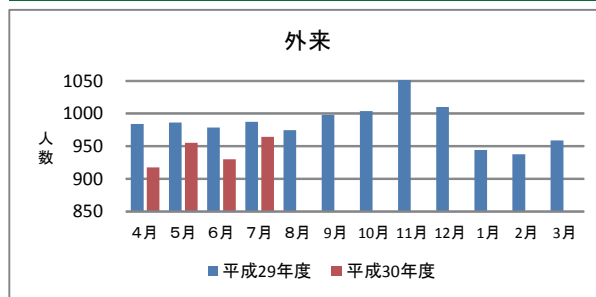
♪ 時間：午後2時～（約30分）♪  
 2階ラウンジにて

9/6	ピアノ	須田 美穂
9/13	マンドリンと歌	鈴木 泰允
9/20	声楽	畑中 紫甫
9/27	ヴァージナル	西 優樹
10/4	ピアノ	佐藤 良美
10/11	ピアノ	鮫島 明子
10/18	ヴァイオリン	天日 倫代
10/25	ピアノ	神谷 ゆりえ

当日演奏者の都合により変更になることがあります。



### 一日平均患者数



### 編集後記

本ページの日平均患者数の推移に表れているように、昨年度末は放射線科医師の退職に伴って十分な治療を行うことが出来ず、多くの患者さんにご迷惑をおかけしました。その時期に患者紹介を快く引き受けていただいた周辺の医療施設の方々には改めてお礼を申し上げます。今年度は新たな診療体制が始まり、県民の要望に応えられるようになりましたので、これまで以上に質の高いがん医療を提供できるよう職員一同努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。(企画情報部長 金森平和)

編集・発行：神奈川県立がんセンター 企画調査室

〒241-8515 横浜市旭区中尾2-3-2

TEL 045-520-2222 (代表)

<http://kcch.kanagawa-pho.jp/>

